

**JASDAQ**

2020年8月7日

各 位

会 社 名 株式会社ムロコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 室 雅文
(JASDAQ・コード7264)
問合せ先
役職・氏名 執行役員管理本部長 山口 誉
電 話 028-667-7122

業績予想および配当予想に関するお知らせ

2020年5月26日に公表いたしました「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期の業績予想及び配当予想につきまして、最近の業績動向等を踏まえ、下記の通りといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想について

(1) 2021年3月期第2四半期(累計)(2020年4月1日~2020年9月30日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	1株当たり四半期純利益
前回予想(A)	—	—	—	—	円 銭 —
今回発表予想(B)	7,602	△467	△261	△338	△56.04
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増 減 率	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期第2四半期)	10,765	705	713	486	80.03

(2) 2021年3月期通期(累計)(2020年4月1日~2021年3月31日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	1株当たり当期純利益
前回予想(A)	—	—	—	—	円 銭 —
今回発表予想(B)	17,196	△70	348	62	10.29
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増 減 率	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	21,401	1,256	1,395	846	139.78

2. 個別業績予想について

(1) 2021年3月期第2四半期（累計）（2020年4月1日～2020年9月30日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想（A）	—	—	—	円 銭 —
今回発表予想（B）	6,054	△159	△231	△38.30
増減額（B－A）	—	—	—	—
増減率	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （2020年3月期第2四半期）	8,312	517	359	59.21

(2) 2021年3月期通期（累計）（2020年4月1日～2021年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想（A）	—	—	—	円 銭 —
今回発表予想（B）	13,806	414	167	27.78
増減額（B－A）	—	—	—	—
増減率	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （2020年3月期）	16,683	1,185	823	135.97

3. 修正の理由

（連結業績）

2021年3月期の連結業績予想につきましては、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、取引先の稼働停止や減産等により適正かつ合理的に連結業績予想を算定することが困難であることから未定としておりましたが、経済活動の再開を受け当社グループの取引先の稼働も再開されたため、現時点で入手可能な情報に基づき連結業績予想を算定いたしましたので、上記の通り公表いたします。

なお、今回公表した業績予想につきましては、当連結会計年度内は新型コロナウイルスの影響が及ぶものの受注は回復に向かう想定で行っております。従って、現在懸念されている第二波による深刻な被害が発生した場合等想定を大きく超えた影響があった場合には、業績予想を変更せざるを得ない可能性があります。

（個別業績）

連結業績と同様の要因により業績予想を算定する事が困難であることから未定としておりましたが、連結業績と同様の要因により、現時点での入手可能な情報に基づき個別業績を算定いたしましたので上記の通り公表致します。

4. 2021年3月期通期 配当予想

2021年3月期通期（累計）（2020年4月1日～2021年3月31日）

基準日	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
今回発表予想	22.00	22.00	44.00
当期実績	—	—	—
（ご参考）前期実績 （2020年3月期）	22.00	22.00	44.00

配当予想の理由

2021年3月期の配当予想は新型コロナウイルス感染症拡大による影響により業績予想の合理的な算出が困難であることから未定としておりましたが、2021年3月期業績予想の公表に合わせ、上記の通り公表いたします。当社の配当の基本方針であります長期安定的配当の維持と株主の皆様のご期待にお応えする観点より、前期同様の配当を実施することにいたします。今後も株主の皆様に対する利益還元を重要な経営政策と認識し、業績や財政状態などを総合的に勘案して長期での安定した配当水準を継続することに努めてまいりたいと考えております。

（注）上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上